

検討項目の公開・非公開の確認

1. 施設整備基本計画に関すること

第3回技術支援会議では、施設整備・運営に係る概算事業費見積徴集を目的としたメーカーアンケートの結果、余熱利用方法、概算事業費、処理方式の検討についてお示ししました。その中で、主に以下の旨のご助言をいただきました。

- ・ アンケートを依頼した8社のうち7社から回答があって、有効5社だったということを明示している方が良い。
- ・ タービン排気の熱は使いにくい蒸気というのが一般論であるため、実現性のある利用先を再検討すること。
- ・ プラスチック分別をするかしないかで金額的に事業費で1割ぐらいの差がある。
- ・ メタン発酵施設では、財政支援が大きくなるが、市の負担する費用が多いということで、コストがかかるということがわかる。メタン発酵施設は、市民啓発になるだろうと考え、さらに明石市では海産物などの処理で出てくる水分の多い廃棄物が入ってくるのではないかと考えたが、実態はそういったこともなく、下水汚泥も別施設で有効に活用されており、新ごみ処理施設でメタン発酵施設を導入したいという材料はあまり見当たらない。

いただいたご助言につきましては、パブリックコメントに向けて施設整備基本計画（素案）を取りまとめていく中で検討し、反映していきます。

第3回技術支援会議以降、国の動向においては「プラスチック資源循環促進法」が成立し、「プラスチック資源の分別回収」の交付要件化を視野に検討を進められているなど、廃棄物分野における脱炭素化を加速化させる動きがみられます。本市においても、プラスチックの分別回収の検討を行うことを議会にて報告いたしました。

第4回技術支援会議では、昨今の動向を踏まえ、第1回～第2回技術支援会議でご確認いただいた「計画処理量及び施設規模」の見直しについての事務局案、第1回～第3回技術支援会議でご確認いただいた「処理方式の検討」及び「処理方式の比較評価」の見直しについての事務局案をご確認いただき、

ご助言いただきたいと思います。

- ① 計画処理量及び施設規模（見直し案）（資料 2-1）
- ② 処理方式の検討（見直し案）（資料 2-2）
- ③ 処理方式の比較評価（見直し案）（資料 2-3）